

CHILE

2026年4月



人口と経済

2,030 万人 人口
37.4 歳 年齢中央値

GDP (購買力平価)
7,400億 ドル
一人当たりGDP (購買力平価)
36,430 ドル

デジタル普及率

96% インターネット
利用率

133件 携帯電話契約数
(100人当たり)

\$14.41 一人当たり
デジタル
音楽支出額

ストリーミング消費

90.3% 週間音楽ストリーミング利用率

35% 月間有料ストリーミング登録者率

11時間32分 週間平均音楽ストリーミング時間

主要SNSトップ5



主要ストリーミングプラットフォーム (アルファベット順)



Spotify サブスクリプション料金

CLP 4.950 / \$5.57
(レポート作成時の換算レート)

録音音楽の収益

25* 位 世界順位

1億2,500万 ドル
1,110億 チリ・ペソ

18.3%* 前年比

89%* ストリーミング比率

独立系音楽団体

INDUSTRIA MUSICAL INDEPENDIENTE CHILE
IMICHILE
INDEPENDENT MUSIC INDUSTRY CHILE

著作権管理団体



制作

SCD
el valor de la música

制作、実演家、作詞・作曲家

3,800万 ユーロ

音楽出版徴収額

著作権法

1970年8月28日制定 法律第17.336号「知的財産権法」
(2017年11月3日制定 法律第21.045号までの改正を含む)

インディーズレーベル (アルファベット順)

Algo Records
Beta Pictoris
Feria Music
IGED Records
Master Media Music
Oveja Negra
Quemasucabeza
Sello Azul
Sello Mescalina
Stars Music

その他

チリはラテンアメリカで最も刺激的な音楽市場の一つへと成長を遂げており、特にアーバンやオルタナティブ・ジャンルが盛んです。レゲトンが世界的に主流となる中で、チリのアーティストはそこにメランコリックで内省的な独自のキャラクターを加え、差別化を図っています。「クエカ (cueca)」やチリ独自の「クンビア」といった伝統的ジャンルも依然として深く愛されているほか、「ヌエバ・カンシオン (Nueva Canción Chilena)」の流れを汲む現代のフォークや、社会的なメッセージ性の強いヒップホップもシーンで確固たる地位を築いています。

国内で最も重要な音楽賞は、SCDとIMICHILEがそれぞれ主催する「プレミオス・プルサル (Premios Pulsar)」と「プレミオス・インディゴ (Premios Indigo)」です。チリには公式の総合チャートは存在しませんが、ビルボードの「Chile Songs」やSpotifyの「Chile Daily Top 50」が人気の指標として機能しています。また、毎年南部バルディビアで開催される「フルビアル (Fluvial)」は、チリを代表するインディーズ音楽カンファレンスです。

出典: IMF, UN, ITU, Data Reportal, Spotify, IFPI, IFPI Chile, WIN, IMICHILE, Chartmetric, WIPO. 入手可能な最新の年度/期間 (録音音楽は2024年分)